

# ひなたGIS 利用方法（ver1.00）

平成29年5月

宮崎県情報政策課

## (目次)

- 1 システム利用にあたっての注意
- 2 システムの概要
- 3 背景の選択・表示方法について
- 4 表示データの選択・表示方法について
- 5 その他の機能について

## 1 システム利用にあたっての注意

- (1) 閲覧は、Google Chromeでの利用を推奨します。推奨ブラウザ以外では、機能の一部または全てが動作しない可能性があります。
- (2) 本システムは一部ポップアップウィンドウで表示する場合があります。ご利用環境においてポップアップブロックの機能が有効にされている場合は、無効にしてご利用ください。なお、無効にする方法は、ソフトウェア提供元のサイトを参照してください。
- (3) 本システムは、地図情報をわかりやすく表示するため、多量のデータ通信を行います。そのため、通信環境によっては画面表示に時間を要する場合があります。本システムを快適に使用したい場合には、ブロードバンド環境での利用を推奨いたします。
- (4) 動作環境について  
本システムは、以下の環境で動作確認を行っています。  
ア Google Chrome (バージョン 58.0.3029.96)
  - ※ ブラウザの「JavaScript」機能が有効になっていない場合、本システムは動作しません。
  - ※ ブラウザの「Cookie」機能が有効になっていない場合、一部機能が利用できません。  
(ブラウザの標準設定によるご利用を推奨します。)
  - ※ スマートフォンでの動作確認しておりません。イ 画面解像度  
1024x768 pixel 以上

## 2 システムの概要

- ・本システムは、複数の住所データ及び地図データを保有しています。
- ・本システムは、任意に選択した地図上に、任意に選択したデータを表示させるシステムです。
- ・本システムは、順次、データや機能を追加していきます。

## 3 背景の選択・表示方法について

- (1) 背景の選択方法



- ① 【背景】ボタンをクリックすると地図が表示されます。



- ② 表示したい地図を選択します。
- ③ スライダーで透過率の設定が可能です。
- ④ 三本線をドロップ&ドラッグで地図の入替が可能です。
- ⑤ 【i】ボタンをクリックすると、地図の説明が表示されます。

(2) **背景**の表示位置変更／拡大・縮小について

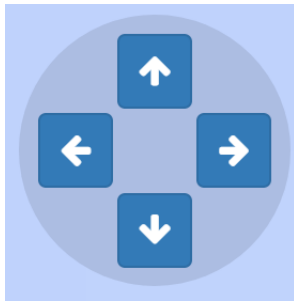
- ア **マウスをドラッグ**することで、地図の表示位置を変更することが可能です。
- イ マウスホイールで、地図の拡大・縮小が可能です。

(3) **背景**の3D表示について

- ア 画面右上【3D】ボタンをクリックすると、地図が3Dで表示されます。



- イ 画面に表示される上下左右の方向キーで、地図を動かすことが可能です。



- ウ 画面真上に表示される【↑】ボタンで、操作前の状態に戻すことが可能です。
- エ 画面右上【2D】ボタンをクリックすると、2D表示に戻ります。

(4) 地図の2画面表示について

- ア 画面左上の【2画面】ボタンをクリックする地図を2画面で表示することができます。



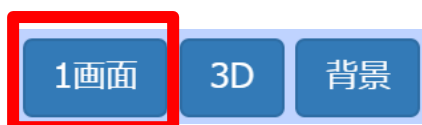
- イ 表示位置をシンクロさせたまま、異なる地図データ、表示データを選択することが可能です。
- ウ 画面中央部の【非同期】ボタンをクリックすると、表示位置のシンクロ機能が解除されます。



- エ 画面中央部の【同期】ボタンをクリックすると、表示位置のシンクロ機能が有効になります。



- オ 画面左上の【1画面】ボタンをクリックすると、1画面に戻ります。



#### 4 表示データの選択・表示方法について

- (1) 【統計局e-stat】ボタンについて  
【統計局e-stat】ボタンをクリックすることで、総務省統計局が提供する様々なデータを様々な形で表示することが可能です。
- (2) 【RESAS】ボタンについて  
【RESAS】ボタンをクリックし、RESASを選択することで、RESASが提供する将来人口推計データを様々な形で表示することが可能です。



#### 5 その他の機能について



画面右上に表示される三本線のマークをクリックすることで、各機能のON/OFF画面を表示します。

- ①画面スワイプ：ONすることで、背景を2つ以上選択した場合に、スワイプ（画面上を指1本で触れて、そのまま上下左右どちらかの方向に滑らせる操作）することが可能です。
- ②Wikimedia Commons：ONすることで、選択した背景上にWikimedia Commonsのデータを表示することが可能です。
- ③海面上昇シミュレーション：ONすることで、スライダー操作により海面上昇した場合の浸水地域を表示することが可能です。  
※ 標高のみでシミュレーションしており、実際の浸水地域とは異なります。
- ④スマホ2D時回転ロック：ONすることで、スマートフォンに表示されるひなたGISの地図を固定することが可能です。